

# 現代日本学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター
現代日本学学芸分析特論 Ⅰ	メディア・ミックスの歴史と 展開	2	赤井 紀美	前期 月曜2限
現代日本学学芸分析特論 Ⅱ	天皇(制)とスピリチュアリ ティ試論	2	茂木 謙之介	後期 火曜5限
現代日本学学芸分析特論 Ⅲ	花と少女の日本文学	2	西原 志保	前期 木曜3限
現代日本学学芸分析特論 Ⅳ	「マンガ」とは何か	2	岩下 朋世	後期 集中講義
現代日本学社会分析特論 Ⅰ	現代日本における家族と 人口	2	田中 重人	後期 水曜2限
現代日本学社会分析特論 Ⅰ	恋愛・家族のメディア分析	2	永田 夏来	前期 集中講義
現代日本学総合演習Ⅰ	現代日本学の実践	2	田中 重人、赤井 紀 美、KLAUTAU ORI ON	前期 月曜5限
現代日本学総合演習Ⅱ	現代日本学の実践	2	田中 重人、茂木 謙 之介、赤井 紀美、KL AUTAU ORION	後期 月曜5限
現代日本学学芸分析研究 演習Ⅰ	近現代女性文学の分析	2	赤井 紀美	前期 火曜4限
現代日本学学芸分析研究 演習Ⅱ	怪異にかんする映像の研 究	2	茂木 謙之介	後期 水曜5限
現代日本学社会分析研究 演習Ⅰ	現代日本における社会問 題の分析	2	田中 重人	後期 金曜4限

**科目名：現代日本学学芸分析特論 I**

曜日・講時：月曜 2 限

開講学期：前期 単位数：2

担当教員：赤井 紀美

コード：LM11201, 科目ナンバリング：LJS-OHS601J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：メディア・ミックスの歴史と展開**

**2・授業の目的と概要：**メディア・ミックスとは、複数の媒体を組み合わせる広告戦略や、小説やマンガ、ゲームなどのコンテンツを異なるメディアへと展開させる手法の事を指す。現在の日本では恒常的にメディア・ミックスが行われているが、実は江戸時代からこうした手法は行われてきた。本講義では、日本のメディア・ミックスの歴史について江戸時代から現代までの流れについて学び、日本学研究のための多角的な視点を養う。

**3. 学習の到達目標：**江戸時代以降の日本のメディア・ミックスの歴史と展開について理解する。  
日本学研究のための多角的な視座を獲得する。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 第1回：イントロダクション
- 第2回：メディア・ミックスとアダプテーション
- 第3回：江戸時代①
- 第4回：江戸時代②
- 第5回：江戸時代③
- 第6回：江戸時代④
- 第7回：近代①
- 第8回：近代②
- 第9回：近代③
- 第10回：近代④
- 第11回：戦後①
- 第12回：戦後②
- 第13回：現代①
- 第14回：現代②
- 第15回：まとめ

**5. 成績評価方法：**出席・授業参加度（50%）、レポート（50%）を総合的に評価する。

**6. 教科書および参考書：**授業内で指示する。

**7. 授業時間外学習：**受講生は到達目標や授業内容に応じた準備学習を行なうこと。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：現代日本学学芸分析特論Ⅱ**

曜日・講時：火曜 5 限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：茂木 謙之介

コード：LM22502, 科目ナンバリング：LJS-OHS602J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：天皇(制)とスピリチュアリティ試論**

**2・授業の目的と概要：**これまで天皇と宗教的権威に関する研究はかなりの蓄積をみせてきたが、戦後社会においては端的に宗教的な権威として天皇を考えるだけでは説明がつけにくい事例が多数確認される。例えば平成期における天皇(制)をめぐる「祈り」ということばが頻出したが、その「祈り」の内実などは十全に明らかにしがたいものでもあった。本授業においては「スピリチュアリティ」を分析概念として導入し、これらの問題に応答することを目指す。授業の過程では報道や文化現象などを素材に、表象分析や言説分析を試みる。

**3. 学習の到達目標：**戦後日本社会における報道や文化現象に関する分析を行うことが出来るようになる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 天皇・皇族・皇室研究の動向①
- 第3回 天皇・皇族・皇室研究の動向②
- 第4回 スピリチュアリティ研究の動向①
- 第5回 スピリチュアリティ研究の動向②
- 第6回～第14回 事例研究
- 第15回 まとめ

**5. 成績評価方法：**上位 10 パーセントを AA、次の 10 パーセントを A とする。成績評価は授業への参加を中心とする。

**6. 教科書および参考書：**特に指定しない。

**7. 授業時間外学習：**授業前に資料精読を要請する場合がある。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：現代日本文学学芸分析特論Ⅲ**

曜日・講時：木曜 3 限

開講学期：前期 単位数：2

担当教員：西原 志保

コード：LM14301, 科目ナンバリング：LJS-0HS612J, 使用言語：日本語

**1. 授業題目：花と少女の日本文学**

**2・授業の目的と概要：日本文学や日本文化における花の表象を見る。**

花は古来、性愛や生殖と重ねられてきたが、近代以降「生殖を禁じられた」少女に重ねられるようになっていく。古典作品においては、生殖や性愛に重ねられる花と、花にたとえられる人物との重なりやずれに注目する。近代以降の作品においては、花の表象がどのように変化したのか、ジェンダー論的な観点から考察する。

**3. 学習の到達目標：**日本文学や日本文化における花の表象を見ることで、社会や文化における生殖と性愛をめぐる権力構造を理解し、自らとの関係を考えることができる。また、様々な資料を参照し、関連づけながら、自分の読みを提示するスキルを身につける。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

内容及び進度予定は以下のとおりであるが、進行状況によって若干内容を変更する場合もある。

- 1 ガイダンス：花と性愛と生殖、テキストを読む手法
- 2 『かざしの姫君』
- 3 『桜姫東文章』
- 4 『秋の夜長物語』
- 5 『古事記』石長比売と木花之佐久夜毘売、『源氏物語』若紫
- 6 京極夏彦『絡新婦の理』
- 7 『東海道四谷怪談』と京極夏彦『嗤う伊右衛門』
- 8 『紫式部集』
- 9 野溝七生子『山柵』
- 10 石井桃子『幻の朱い実』
- 11 『源氏物語』女三の宮
- 12 夏目漱石『それから』と尾崎翠『第七官界彷徨』
- 13 森茉莉『甘い蜜の部屋』
- 14 現代における植物表象

**5. 成績評価方法：**履修者全体の上位 10%程度を「AA」とし、次に優秀な 20%程度を「A」とする。出席状況や課題レポートを総合的に評価する。

**6. 教科書および参考書：**西原志保『花と少女の日本文学』（春秋社、2026年）。参考書は適宜授業内で指示する。

**7. 授業時間外学習：**授業内で扱う書籍は、事前に読んでおくことが望ましい。授業内で分からなかった点は自分で調べたり、質問したりすること。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：現代日本学学芸分析特論IV**

**曜日・講時：集中講義**

**開講学期：後期 単位数：2**

**担当教員：岩下 朋世**

**コード：LM98817, 科目ナンバリング：LJS-0HS614J, 使用言語：日本語**

**1. 授業題目：「マンガ」とは何か**

**2・授業の目的と概要：**マンガについて、その定義、歴史、ナラティブについて学ぶ。マンガは日本において大変ポピュラーな文化である。それだけに我々は「マンガとは何か」について、分かっているような気になってしまいがちである。しかし、この講義では新旧の様々な具体例を取り上げながら、「マンガとは何か」という問いが実はきわめて難しいものであることを示していく。受講者には議論への積極的な参加を求める。

**3. 学習の到達目標：**マンガの歴史と表現について理解し、作品を分析するスキルを身につける。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

内容及び進度予定は以下のとおりであるが、進行状況によって若干内容を変更する場合もある。

- 第1回 イン트로ダクション
- 第2回 「マンガ」のさまざまな定義
- 第3回 「北斎漫画」はマンガか？
- 第4回 コマと物語
- 第5回 戦争とマンガー「のらくろ」を事例に
- 第6回 マンガと出版文化①
- 第7回 マンガと出版文化②
- 第8回 手塚治虫と少女マンガ
- 第9回 少女マンガにおける異性装
- 第10回 マンガにおけるイメージと言葉①
- 第11回 マンガにおけるイメージと言葉②
- 第12回 萩尾望都「半神」を読む
- 第13回 マンガを読む-受講者による発表①
- 第14回 マンガを読む-受講者による発表②
- 第15回 まとめ

**5. 成績評価方法：**履修者全体の上位 10%程度を「AA」とし、次に優秀な 20%程度を「A」とする。出席状況や課題レポート、発表を総合的に評価する。

**6. 教科書および参考書：**教科書は特に指定しない。参考書は適宜指示する。

**7. 授業時間外学習：**到達目標や授業内容に応じた準備学習が求められる。学外での調査も含まれる。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

**9. その他：**

**科目名：現代日本学社会分析特論 I**

曜日・講時：水曜 2 限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：田中 重人

コード：LM23202, 科目ナンバリング：LJS-0HS604J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：現代日本における家族と人口
2. 授業の目的と概要：特に家族制度と人口現象に注目して、近代以降の日本社会について講義する
3. 学習の到達目標：現代日本社会の分析のために必要な知識と方法を知る
4. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第1回：はじめに：社会分析のための知識と方法
  - 第2回：法と規範
  - 第3回：法的な情報を調べる方法
  - 第4回：現代日本の家族法について受講生からの報告と討論
  - 第5回：現代日本の家族法について補足説明
  - 第6回：人口統計と人口現象
  - 第7回：20世紀日本社会の人口変動
  - 第8回：講義前半の振り返りと進度確認
  - 第9回：ライフサイクルの変化
  - 第10回：近代化にともなう社会変動
  - 第11回：工業化と都市化
  - 第12回：イエ制度の解体と個人主義化
  - 第13回：日本的経営と福祉国家
  - 第14回：講義後半の振り返りと進度確認
  - 第15回：講義全体のまとめと講評
5. 成績評価方法：授業中に課す課題および宿題による
6. 教科書および参考書：なし
7. 授業時間外学習：各回の課題に対応する予習・復習と宿題
8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
9. その他：  
授業資料は <http://tsigeto.info/c.html> に掲載予定。

**科目名：現代日本学社会分析特論 I**

**曜日・講時：集中講義**

**開講学期：前期 単位数：2**

**担当教員：永田 夏来**

**コード：LM98801, 科目ナンバリング：LJS-OHS604J, 使用言語：日本語**

**1. 授業題目：恋愛・家族のメディア分析**

**2・授業の目的と概要：**マンガを中心としたポピュラーカルチャー作品を素材に、そこに描かれる恋愛・結婚・家族の表象を家族社会学の視点から分析する方法を学ぶ。作品の精読を通じて、現代日本社会における親密な関係性の変容について考察する。

**3. 学習の到達目標：**ポピュラーカルチャー作品を社会的に分析する基本的な視座と方法を習得し、恋愛・結婚・家族をめぐる社会規範について批判的に考察できるようになる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

1. 家族社会学の基礎とメディア分析 (1)
2. 家族社会学の基礎とメディア分析 (2)
3. メディア表象と社会の関係
4. マンガに描かれる恋愛とジェンダー (1)
5. マンガに描かれる恋愛とジェンダー (2)
6. マンガに描かれる結婚と制度 (1)
7. マンガに描かれる結婚と制度 (2)
8. 作品分析と生活実践を結びつける視点と方法
9. マンガに描かれる家族と親密圏 (1)
10. マンガに描かれる家族と親密圏 (2)
11. グループワーク (1)
12. グループワーク (2)
13. グループ発表 (1)
14. グループ発表 (2)
15. 全体討論とまとめ

**5. 成績評価方法：**出席および各回の課題提出 [60%]、グループ発表 [40%]

**6. 教科書および参考書：**教科書は特に指定しない。必要な資料は適宜配布する。参考書：永田夏来・高橋幸 編『恋愛社会学』ナカニシヤ出版，2024年

**7. 授業時間外学習：**授業内で紹介された作品や文献の内容を把握し、理解を深めること。グループ発表に向けて、担当作品の読解と分析を行うこと。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：現代日本学総合演習 I**

曜日・講時：月曜 5 限

開講学期：前期 単位数：2

担当教員：田中 重人、赤井 紀美、KLAUTAU ORION

コード：LM11502, 科目ナンバリング：LJS-0HS607J, 使用言語：日本語・英語

1. 授業題目：現代日本学の実践

2. 授業の目的と概要：日本研究の方法と対象・領域について資料に基づいて課題を設定し報告する。

3. 学習の到達目標：日本研究の方法の多様な方法論を実践的に習得し研究報告を行う中で課題を発見する。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

各自の関心にしたがって設定した研究プロジェクトにもとづき、研究を進める。授業においては、受講者が研究の経過と課題を報告し、討論をおこなう。

第1回：はじめに

第2回：研究プロジェクト管理に関わるガイダンス

第3回：文献・研究課題に関わるガイダンス

第4回：担当者による口頭発表と質疑応答①

第5回：担当者による口頭発表と質疑応答②

第6回：担当者による口頭発表と質疑応答③

第7回：担当者による口頭発表と質疑応答④

第8回：担当者による口頭発表と質疑応答⑤

第9回：担当者による口頭発表と質疑応答⑥

第10回：担当者による口頭発表と質疑応答⑦

第11回：担当者による口頭発表と質疑応答⑧

第12回：担当者による口頭発表と質疑応答⑨

第13回：担当者による口頭発表と質疑応答⑩

第14回：日本学の課題についての総合討論①

第15回：日本学の課題についての総合討論②まとめ

5. 成績評価方法：発表（レポートを含む）[60%] と出席 [40%]（授業中の対話を含む）

6. 教科書および参考書：教科書は使用せず、発表資料を作成し発表・報告を行う。

7. 授業時間外学習：報告の準備および報告時質疑内容の検討を通して知見を拡充する。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

**科目名：現代日本学総合演習Ⅱ**

曜日・講時：月曜 5限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：田中 重人、茂木 謙之介、赤井 紀美、KLAUTAU ORION

コード：LM21501, 科目ナンバリング：LJS-0HS608J, 使用言語：日本語・英語

1. 授業題目：現代日本学の実践
2. 授業の目的と概要：日本研究の方法と対象・領域について資料に基づいて課題を設定し報告する。
3. 学習の到達目標：日本研究の方法の多様な方法論を実践的に習得し研究報告を行う中で課題を発見する。
4. 授業の内容・方法と進度予定：  
各自の関心にしたがって設定した研究プロジェクトにもとづき、研究を進める。授業においては、受講者が研究の経過と課題を報告し、討論をおこなう。  
第1回：はじめに  
第2回：研究プロジェクト管理に関わるガイダンス  
第3回：文献・研究課題に関わるガイダンス  
第4回：担当者による口頭発表と質疑応答①  
第5回：担当者による口頭発表と質疑応答②  
第6回：担当者による口頭発表と質疑応答③  
第7回：担当者による口頭発表と質疑応答④  
第8回：担当者による口頭発表と質疑応答⑤  
第9回：担当者による口頭発表と質疑応答⑥  
第10回：担当者による口頭発表と質疑応答⑦  
第11回：担当者による口頭発表と質疑応答⑧  
第12回：担当者による口頭発表と質疑応答⑨  
第13回：担当者による口頭発表と質疑応答⑩  
第14回：日本学の課題についての総合討論①  
第15回：日本学の課題についての総合討論②まとめ
5. 成績評価方法：発表（レポートを含む）[60%] と出席 [40%]（授業中の対話を含む）
6. 教科書および参考書：教科書は使用せず、発表資料を作成し発表・報告を行う。
7. 授業時間外学習：報告の準備および報告時質疑内容の検討を通して知見を拡充する。
8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness
9. その他：

**科目名：現代日本学学芸分析研究演習 I**

**曜日・講時：**火曜 4 限

**開講学期：**前期 **単位数：**2

**担当教員：**赤井 紀美

**コード：**LM12405, **科目ナンバリング：**LJS-0HS609J, **使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**近現代女性文学の分析

**2. 授業の目的と概要：**この授業では、日本の女性作家の作品を理解し、批評的に読解することを目指す。

**3. 学習の到達目標：**作品を主体的に読解することができる。  
社会的・文化的な文脈において作品を意義付けることができる。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

毎回担当者による発表と討論を行う。

第1回 インTRODクシヨN

第2回 担当者による発表

第3回 担当者による発表

第4回 担当者による発表

第5回 担当者による発表

第6回 担当者による発表

第7回 担当者による発表

第8回 担当者による発表

第9回 担当者による発表

第10回 担当者による発表

第11回 担当者による発表

第12回 担当者による発表

第13回 担当者による発表

第14回 担当者による発表

第15回 担当者による発表

**5. 成績評価方法：**発表の内容や討論への関わりかたにより評価する。発表テーマについての個別のレポートによることもある。

**6. 教科書および参考書：**授業時に指示する。

**7. 授業時間外学習：**自分の発表の準備を整える。発表後の質問や討論を研究に反映させる。他の学生の発表原稿を事前に読み、質問と議論の準備をする。

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

**科目名：現代日本学学芸分析研究演習Ⅱ**

曜日・講時：水曜 5 限

開講学期：後期 単位数：2

担当教員：茂木 謙之介

コード：LM23502, 科目ナンバリング：LJS-0HS613J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：怪異にかんする映像の研究

2. 授業の目的と概要：怪異はメディアを媒介して拡散する。本授業では戦後社会において怪異を描いた映像作品について分析を行う。参加者は事前に映像を鑑賞し、授業においては発表者を立てて、その発表内容に基づいて議論を行う。

3. 学習の到達目標：戦後日本社会における怪異表象について分析を行うことが出来るようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 イン트로ダクション

第2回～第14回 事例研究

第15回 まとめ

5. 成績評価方法：上位 10 パーセントを AA、次の 10 パーセントを A とする。成績評価は授業への参加を中心とする。

6. 教科書および参考書：特に指定しない。

7. 授業時間外学習：授業前に映像鑑賞を必須とする。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

**科目名：現代日本学社会分析研究演習 I**

**曜日・講時：**金曜 4 限

**開講学期：**後期 **単位数：**2

**担当教員：**田中 重人

**コード：**LM25401, **科目ナンバリング：**LJS-0HS611J, **使用言語：**日本語

**1. 授業題目：**現代日本における社会問題の分析

**2. 授業の目的と概要：**各自の関心に基づいて問いを立て、資料・データを収集・分析し、批判的思考と議論を通じて答えを導くプロセスを体験する。

**3. 学習の到達目標：**文献探索、読解、論証、討論など、研究のための基本的なスキルを習得する。

**4. 授業の内容・方法と進度予定：**

受講者各自の関心にしながら文献調査を行い、途中経過の報告と討論を行いながらレポートを作成する。

- はじめに：この授業での課題設定と調査の方法
- 文献データベースの利用と論文の読みかた
- 論文について発表
- 引用をたどる
- 中心的情報源
- 専門用語と理論体系
- 資料の評価と活用
- アイディアの創出
- 議論を組み立てる
- 研究プロジェクトの計画と遂行
- レポート提出および口頭試問

**5. 成績評価方法：**授業中の課題（30%）、途中経過等報告と討論での発言（30%）、期末レポート（40%）

**6. 教科書および参考書：**【参考書】佐藤望ほか（2020）『アカデミック・スキルズ』（第3版）慶應義塾大学出版会

**7. 授業時間外学習：**授業で指示する課題をこなしながら、各自の関心にしながら研究プロジェクトを進める

**8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

**9. その他：**

授業資料は <http://tsigeto.info/study/> に掲載予定。